

ジョイフル城北 スマイル城北



令和6年度 学校だより
ジョイスマ
令和6年11月8日
熊本市立城北小学校
校長

見えない先には・・・

11月に入り、やっと朝夕は寒さを感じるようになりました。今年例年になく暑い日が続き、立冬を迎える時期に秋を感じるようになりました。11月の全校朝会では、こんな話をしました。

みなさん、おはようございます。11月になりました。2学期は、行事が盛りだくさんです。6年生は長崎への修学旅行、5年生は阿蘇青少年交流の家での集団宿泊教室、その他の学年は見学旅行です。もう終わった学年、これからの学年もあると思いますが、意義ある学習にしてほしいと思います。

ところで、11月は「心かがやけ月間」です。これは、熊本市のすべての子どもたちに、「感動・感謝する心、郷土を愛する心、いのちを大切にできる心や規範意識」などを育てるために学校や保護者、地域が連携して取り組もうという活動です。また、年間を通した活動ですが、「心かがやけ月間」の11月を中心としながら取り組みます。今、1年生が朝から正門の近くで、あいさつ運動に取り組んでいます。気持ちのよいあいさつを1年生がしてくれるので、校長先生も元気をもらいます。また、他の学年で落ち葉掃きをしている人もいます。

さて、みなさんは果物が好きですか。そして、よく食べる果物は何ですか。校長先生は、リンゴが大好きで、よく食べます。リンゴの果肉入りのヨーグルトも大好きで、よく食べます。では、ここで質問です。リンゴは、何色でしょうか。そうです。赤色です。または、黄緑色のような緑色です。リンゴは、赤くなるリンゴと、赤くならない青リンゴに大きく分けられます。今日は、青りんごではなく、赤くなるリンゴの話です。では、またここで質問です。どうして若いリンゴの実が緑色なのに、だんだん赤くなると思いますか。それは、赤くなる成分アントシアニンがリンゴにあって、熟してくると赤くなるからです。しかし、それだけでは、きれいな赤いリンゴになりません。それはなぜだ、と思いますか。太陽の光、日光がしっかり当たらないと赤いリンゴにならないのです。じゃあリンゴの木を想像してください。リンゴの木には、リンゴの実のほかにも何ががありますか。そうです。枝や葉があります。枝や葉が日光を遮ると、その部分は赤いリンゴにならないで、緑色のままです。だから、まだら模様のリンゴになるのです。でも売ってあるリンゴは、とてもきれいな赤色をしていますね。なぜだと思いますか。それは農家の方が、日光がよく当たるようにリンゴの実の周りの枝や葉を取り除いているからです。さらにリンゴの裏側にも日光がよく当たるように、実が取れないように気をつけて実を回して日光を当てているからです。今、みんなが普通に食べている赤いリンゴは、農家の方々の工夫や努力があるからなんです。将来、農家の方々がリンゴを赤くする取り組みをやめたら、みなさんは「リンゴの色は赤と緑のまだら模様です。」とか、「緑色です。」と答えると思います。そして、お店にリンゴを買いに行くと、青リンゴばかりになるかもしれませんね。

赤いリンゴのように、普段、当たり前に見ているもの、感じていることも、私たちの見えない先に誰かの努力や支えがあるかもしれません。つまりみなさんの家庭での普通の生活も、ご家庭の方々の思いやりや支えが、みなさんの見えない先にあると思います。見方を変えてみると、身近な友達や学級、学年なども同じです。今までとちょっと違った見方で身近な友達や学級、学年を見てみてください。普通だと思っていたことの中に、なにか新しい発見があると思います。新しい発見があると、新しい友達のよさにも出会えると思います。

11月8日(金)は音楽会があります。どの学級や学年でも、友達と協力し、友達の新しい発見をしながら、すばらしい演奏をして達成感や満足感を味わってほしいです。期待しています。そして、「ジョイフル城北」「スマイル城北」で元気に頑張ってもらいたいと思います。

